

調布市東部公民館開館50周年記念誌

とびとへび

地域の未来をひらく、
半世紀のあゆみ

巻頭特集 公民館と多世代交流「東部暮友会」「桐朋女子中・高等学校」

50周年記念事業いろいろ

特別座談会「公民館で学び続ける私たち～まったり回想座談会」

東部公民館50年のあゆみ

サークルとつくれた「みんなの東部公民館カルタ」

| | |
|----|------|
| 目次 | P. 3 |
|----|------|

ごあいさつ

| | |
|-----------------|------|
| 調布市長 | P. 4 |
| 調布市教育委員会 教育長 | P. 5 |
| 調布市公民館運営審議会 委員長 | P. 6 |



巻頭特集 公民館と多世代交流

| | |
|------------|-------|
| 東部碁友会 | P. 8 |
| 桐朋女子中・高等学校 | P. 10 |

東部公民館50周年記念事業

| | |
|---|-------|
| 東部公民館開館50周年記念フェスティバル 音楽と映像で祝うオン・ステージ | P. 12 |
| 東部地域文化祭 | P. 16 |
| 50周年記念事業一覧 | P. 24 |
| 記念キャラクター「ちょこぽん」 | P. 26 |

| | |
|---|-------|
| 東部公民館50周年記念特別座談会 「公民館で学び続ける私たち ～まったり回想座談会」 | P. 28 |
|---|-------|

50年の歩み ～この20年を中心に

| | |
|---------------------------|-------|
| 主催講座・教室で学んだこの20年 | P. 40 |
| つなぐよ、つなぐ ～私たちの東部公民館コミュニティ | P. 48 |
| サークル活動で学ぶ・集う | P. 68 |

みんなのページ

| | |
|------------------------|-------|
| 登録団体 ALL★STARS | P. 76 |
| サークル自主企画「みんなの東部公民館カルタ」 | P. 84 |

資料編

| | |
|--------------------------|--------|
| 調布市の公民館と東部公民館 | P. 90 |
| 主催事業一覧・あんな声こんな声 (H17～R6) | P. 96 |
| 令和7年度登録団体一覧 | P. 118 |

| | |
|------|--------|
| 編集後記 | P. 119 |
|------|--------|



開館50年に寄せて

調布市長 長友 貴樹^{よしき}

調布市が市制施行70周年を迎えた本年、調布市東部公民館も開館50周年の節目を迎えました。半世紀もの長きにわたり、地域の方々をはじめ、利用者、利用団体の皆様には、東部公民館の運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

東部公民館は、昭和36年に開館した調布市公民館(のちの中央公民館)に次いで、市内2番目の公民館として昭和50年6月に開館いたしました。その頃の東部地域は、緑豊かで芸術文化のかおるエリアである一方で、文化・コミュニティ施設が少なかったことから、当時の地域住民の皆様からの公民館への期待は非常に大きかったものと認識しております。開館後は、東部地域の発展と賑わい向上とも相まって、多くの学習サークルや地域団体などにご利用いただいてまいりました。

また、長い間で要望いただいておりますエレベーターにつきましては、令和5年度に設置が完了し、そのほか、50周年に向けて外壁や空調の改修、和室の畳交換など、施設・設備老朽化への対応を図り、誰もが快適に利用できるよう、環境を整えました。

さらに、公民館では、近年、地域の中学校・高等学校との連携を積極的に進め、世代間交流につながる取組を展開しており、老若男女問わず、地域の多くの皆様に施設をご利用いただいておりますことを大変喜ばしく存じております。

今後も東部公民館が、地域に開かれた生涯学習の場、市民交流の拠点としてますます多くの方に利用され、この先60年70年と地域と共に歩みを進めていくために、引き続き地域住民の皆様をはじめ関係各位のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



地域の学び合いの 輪を広げて50年

調布市教育委員会 教育長 栗原 健^{たけし}

市制施行70周年という節目の年に、東部公民館は、記念すべき開館50周年を迎えることができました。半世紀もの長きにわたり、東部公民館の活動を支えてこられた利用者、公民館運営審議会委員、地域の皆様等、多くの関係者の多大なる御支援・御協力に対し、心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

東部公民館は、昭和50年6月、市の東部に位置する国分寺崖線の緑豊かな住宅街に、市内2番目の公民館として設置されました。開館当初から地域住民の学習活動の拠点として、青少年教育、高齢者教育、家庭教育、成人教育、国際理解教育の5つの学習分野を主軸とした事業のほか、登録団体や利用団体の学習活動の支援、地域交流の場である「東部地域文化祭」を実施するなど、地域の学び合いの輪を広げる役割を担ってまいりました。近年では、公民館登録団体や、隣接する桐朋女子中学校・高等学校の皆様など、地域関係団体等と連携・協働事業を充実させることで、調布市教育プラン及び社会教育計画に掲げる「学びが広がり 人がつながり みんなの願いでつくるまち」の実現に向けた取組を展開しております。

人生100年時代を見据え、全ての人々が、生涯を通じて自らの人生を設計し活躍できるよう、必要な知識・技能の習得、知的・人的ネットワークの構築や健康の保持・増進に資する生涯学習を推進し、「学び」と「活動」の循環を形成することが重要です。東部公民館では、これまで培ってきた各種事業や団体の活動支援をより一層充実させることで、市民の皆様が生きがいを感じ、社会全体の満足度や幸福度の向上につなげられるよう取り組んでまいります。

引き続き、公民館事業に利用者・地域の皆様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、関係者の皆様の御健勝・御多幸を祈念いたしまして、記念誌発刊のあいさつといたします。



さらなる飛躍を目指して

調布市公民館運営審議会 委員長

いなどめ まさとし
稲留 昌利

東部公民館開館50周年、まことにおめでとうございます。心からお慶び申し上げます。また、あわせて50周年の記念誌「とぶと〜ぶ」の刊行もなされ、慶賀にたえません。

今年6月に開催された「東部公民館開館50周年記念フェスティバル」を拝見させて頂きました。公民館所属のサークルの方々の合唱から桐朋女子中・高生の出演、さらには桐朋学園大学音楽学部出身の方々を中心とした素晴らしいコンサート等に心を打たれました。

これらの催しは、まさに開館以来50年間を掛けて築き上げてきた東部公民館の秘めたるパワーが飛躍し、花開いた企画だと思えます。どれ一つとして俄仕立てでは出来なかった企画だったと思えました。

オープニングの歌も、公民館の講座の開設や担当される先生のご指導と、メンバーの方々のご努力の賜物が、ここに実を結び観客の拍手を引き起こしたのでしょう。

また長年の桐朋学園との地道な関係の構築がなければ、桐朋学園大学卒業の一流の演奏家のご出演はなかったかと思えます。

飛ぶ・飛躍は華やかなものではありません。しかしスポーツでも芸事でも日々の仕事でも、それが華やかに輝くまでには、当たり前のことながら地道な努力を欠かせません。

東部公民館が来るべき開館100年後に向かって更に飛躍し、町の方々に慕われ信頼される公民館でありますよう祈念し期待いたしております。





とびと〜び

NEXT... 公民館と多世代交流

本編 Let's go!!



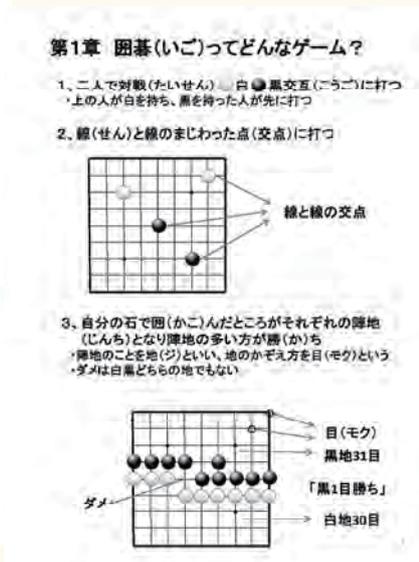
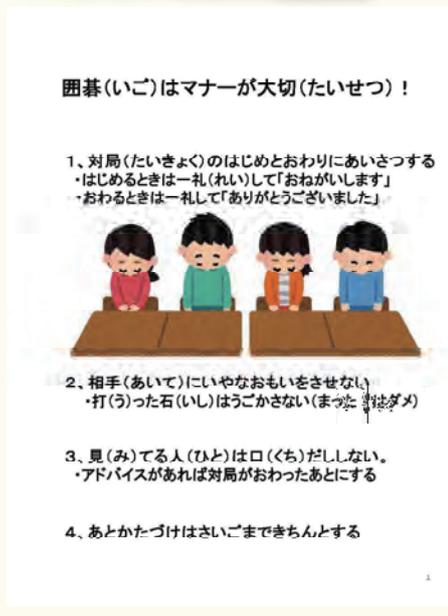


地域に根差す 東部公民館の登録団体



東部公民館開館間もない昭和50年から活動をしている囲碁サークル「東部碁友会」。毎年夏休みには地域の子どもたちに向け、初心者向け囲碁教室を公民館事業として開催しています。講師を務めるのは、日本棋院普及指導員で、自身も東部碁友会の会員の亀井陽一さんです。

講座は亀井さん自作のテキストを基に、低学年の子どもでもわかりやすく、親しみやすく、丁寧に進んでいきます。



まずは「マナーが大切!」から始まるテキスト。そしてお話は基本のルールへと進みます。子どもたちが理解できているか、練習問題でのチェックが都度挟まれ、前に出て答えてくれる人を募ります。そんなシーンでの亀井さんの声かけが、子どもの主体的な取り組みを促し、思考力をより高めていると感じられます。子どもの理解力には驚かされることもしばしば。「後ろの(碁友会の)おじさんたちより優秀だね」と亀井さん。



いよいよ対局へ。初日は碁盤のタテヨコの線が、それぞれ5本ずつの5路盤を使って足慣らし。簡単で1回の対局時間も短いのに奥が深く、メキメキ上達して思考力を高め、いく子どもたちの姿を見ることができました。東部碁友会の会員の皆さんにも、対局相手やアドバイスに協力していただきました。

最終日は9路盤にランクアップして、参加者全員のトーナメント戦をし、最後には修了証書が手渡されました。参加者の皆さんも、講師の皆さんも、3日間お疲れさまでした。

記念誌発刊にあたり、
亀井さんに執筆していただいた
原稿をP.75に掲載しています。



普段の東部碁友会の様子



亀井さん、東部碁友会の皆さん、ありがとうございました





祝70周年記念 調布市民文化祭



東部地域文化祭

あした
テーマ「地域と共に50年 明日へ繋ごう文化と絆」

東部公民館
50周年記念



東部公民館開館50周年記念キャラクター
「ちよこぼん」

オープニング・イベント

10/25(土) PM 1:00

吹奏楽(都立神代高等学校吹奏楽部)・手品
ダンス(桐朋女子中・高ダンス部&教室受講の小学生)
歌(麻田 ゆき & 東部市民講座有志)

展示

絵画・ペン習字・書道・絵手紙・エッセイ・ゼンタングル
カリグラフィー・折り紙・写真・ダーニング・学習発表
エスペラント語・サークル活動紹介・生け花 (10/28 AM 11:00 ~ 11/2 PM 15:00)

学校連携 (薄坂小学校わかさ学級・桐朋女子中・高社会歴史研究部)
(神代高等学校コンピュータ部・第四中学校美術部)
地域連携 (地域包括支援センター仙川・希望の家)

催し・発表 (◆は要申込)

| | | |
|----------------------|----------|---|
| 10/26 (日) | AM 10:00 | ◆ゼンタングルワークショップ(300円) |
| | PM 1:30 | クイズ大会(桐朋女子中・高クイズ研究会) |
| | PM 2:00 | ◆公開学習会「あなたの元気はどこから ~人生100年時代の地域と公民館~」 |
| 10/28 (火) | PM 2:00 | 百人一首カルタ取り体験会 |
| | PM 2:30 | ◆カリグラフィーワークショップ |
| 10/29 (水) | AM 10:30 | お抹茶席(裏千家)(500円) |
| | PM 3:00 | 秋のスペシャルおはなし会(会場:図書館若葉分館) |
| 10/31 (金) | PM 2:00 | ◆毛筆でネームカード作り |
| 11/1 (土) | AM 10:00 | 東部公民館・保育園・児童館 とうぶ50周年コラボ企画 「ワクワク!ミニサーカス」 |
| | PM 2:00 | ◆折り紙体験 |
| 11/2 (日) フィナーレ | PM 1:15 | オカリナ合奏 |
| | PM 1:45 | 朗読 |
| | PM 2:40 | 合唱~グランドフィナーレ 「みんなで歌いましょう」「抽選会」 |

喫茶コーナー
手作りクッキー販売
(10/29除く期間中)

出張販売
すまいるパン
(10/30)

ちよこポイントラリー
ポストカード等プレゼント

出張販売
希望の家
木島平村マルシェ
(10/26)

クロスワード・クイズ 「ちよこぼん」を探せ
制作:図書館若葉分館 (11/1)

日時

令和7年 10/25(土) ▶ 11/2(日)

※ 10/27(月)は休館日
午前9時~午後5時(最終日は午後3時30分まで)

会場

調布市東部公民館 (サブ会場)
調布市立東部児童館
調布市立図書館若葉分館

調布市若葉町 1-29-21 (2階)
※ 京王線仙川駅下車徒歩8分

主催:調布市, 調布市教育委員会,
(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団, 調布市文化協会
運営:東部地域文化祭実行委員会

問い合わせ:調布市東部公民館 TEL: 03-3309-4505

プレ文化祭(サークル見学会) 10/15(水)~10/21(火)
※ 10/20(月)は休館日

10/15(水) AM 10:00 スポーツ吹矢 東部 (要キャップ代 110円)
10/16(木) PM 1:30 日本史を学ぶ会
PM 1:45 ピラティス&ヨガの会
10/17(金) PM 2:00 東部百人一首の会
10/18(土) PM 2:00 東部フォトクラブ
10/19(日) PM 1:00 東部碁友会
10/21(火) AM 9:45 ゆったりストレッチ
AM 10:00 朗読やまなし

申込不要



ちよこぼんと巡る

東部地域文化祭 2025

10月25日から11月2日にかけて、毎年恒例の東部地域文化祭が、東部公民館50周年の今年ではスーパーパワーアップして開催されました。たったの8ページではとても入り切らず、ダイジェストにはなりますが、ちよこぼんと一緒にその様子を見ていきましょう。



8月の事業で制作した階段アートがお出迎え



会場装飾もスペシャル。
東部保育園、四中、桐朋女子、
東部児童館・あおば・わかば学童と、
たくさん協力していただきました。

催し物

10/25
(土)

オープニングイベント

- ・ダンス（桐朋女子中・高等学校ダンス部&キッズダンス講座参加者）
→P.25
- ・歌（ハレルヤ!ポップス）
- ・手品（若葉マジック愛好会）
- ・吹奏楽（都立神代高等学校吹奏楽部）



同時開催 出張販売
「木島平マルシェ」「希望の家」



最初の土日はあいにくの悪天候…
それでも地域の学校の生徒の皆さんなどの出演で、
華やかにオープニングイベントを彩ってくれたよ
6月のフェスティバルに出演した、
東部市民講座「ゴスペル☆うたこえ」の有志の皆さんで
結成した「ハレルヤ!ポップス」も初舞台!



10/26
(日)

50周年記念事業 公開学習会

「あなたの元気はどこから？」

～人生100年時代の地域と公民館～

東部公民館開館50周年を記念して、東部公民館利用者3人に「あなたの元気はどこから？」というテーマでお集まりいただきました。学習会の前の20分間は、今回のキーワード「元気」「人生100年時代」等をテーマに、桐朋女子中・高等学校クイズ研究会の皆さんから、14問のクイズが出題されました。

ファシリテーターとして、東部公民館長も務めた生田さんを。コメンテーターとして、公民館外の方で健康のスペシャリストである地域包括支援センター仙川の看護師・山澤さんをお迎えして、5人でのお話が始まりました。

木村さんは、東部公民館の3つのサークルに所属し、お引越しも後も電車で1時間以上かけて通っている女性。丸橋さんは、大学で農の勉強を始めたあと公民館の短歌サークル代表を務めるかたわらシルバー人材センターでも働く男性。鈴木さんは書と絵画を30年以上公民館で続ける芸術家であると同時に身体も鍛えている女性でした。共通するのは、お仕事などを終えてから、ご自分のやりたいことを続け、お友達との交流を楽しむアクティブシニアだということ。



～人生100年時代の地域と公民館～



生田さんの3人へのインタビューを聞いたあとは、山澤さんからもコメントがありました。ご高齢で歩行もままならなくなった方とのコミュニケーションはただ一つ。「対話」であるということ。そこからその方の生きてきた時間を振り返り、その方を知ることができる。ご自身も忘れていた事柄もあり、公民館で学ぶことは「自分探しの旅」でもあるのではないかと。「共創」ということも、地域の中では大切なことであると話してくださいました。

このあと、参加者も3グループに分かれて丸くなって座りました。3人の方もそれぞれ輪の中に入って、グループワークの始まりです。自分も負けちゃいけないと思った方。家にばかりいる家族にあてはめて問題意識をもった方。自分の将来のことも考えた高校生と母。このようなフリートークの時間も楽しかったという意見が多く聞かれました。

今回の学習会は、何かまとめをしたり、結論を出す場ではありません。ファシリテーターは、皆さんから出たお話を項目立ててくれる役割。そこから先は、これから人生100年時代を生きる皆さん自身が考えていってくださいという言葉で会をしめくくりました。



東村地区文化祭 東部公民館10周年記念事業 **公開学習会** 50

あなたの元気はどこから？ ～人生100年時代の地域と公民館

★東部公民館で活動する3人に、ファシリテーターが質問しながら「元気」の秘訣を探ります。★その際、小グループで、感想や気づきをまとめて共有し、コーディネーターからも後援へのヒントをもらいます。
★仲間女子の中高生による、公開学習会にちなみクイズ大会を開催します！ぜひご参加ください。

10/26(日) 午後1時30分～「クイズ大会」
桐岡女子中・高等学校クイズ研究会
★公開学習会にも参加し、グループワークも開催

■来村 紀代子さん (アザハル、東部のアザハル、くまのこねこね)
■丸橋 和洋さん (大東部公民館の会代表)
■鈴木 祥子さん (1号館のグループワークの会)

コーディネーター 生田 真由さん (大東部公民館)
コーディネーター 山澤 晴子さん (東部公民館運営スタッフ、東部公民館)

会場/東部じどう館 ゆうぎ室 (東部公民館と併り)
定員/申込み順50人 費用/無料
持物/スリッパ(できればご持参ください)
申込 10月7日(火)午前10時から、電話と窓口で受付

調布市東部公民館 tel: 03-3309-4505 fax: 03-3305-3456
(京王線山手線下車8分)・月曜休館 付設し 〒182-0003 調布市西栗岡 1-29-21

ゼンタングルワークショップ
キーホルダーづくり (ゼンタングルの会)

百人一首カルタ取り体験会
(東部百人一首の会)

カリグラフィーワークショップ
(カリグラフィー薫風の会)



10/28
(火)

10/29
(水)

お抹茶席

裏千家・立礼式（茶道 葉月会）



秋のスペシャルおはなし会

調布市立図書館 若葉分館



期間中、ちよこぼんと調布市立図書館公式キャラクター「じろ」のコラボシールがもらえるクロスワードもありました。

10/30
(木)

出張販売「すまいるパン」

赤ちゃんる～むで初登場したちよこぼんパンが再登場！



10/31
(金)

毛筆でネームカードづくり

（美しい細字楷書の会）



11/1
(土)

50周年記念事業 東部公民館・保育園・児童館 とうぶ50周年コラボ企画「わくわく！ミニサーカス」

東部公民館とともに50周年を迎えた、東部保育園・児童館とのコラボ企画に調布市在住のサーカスパフォーマー「サブリミット」のガッツとヨーコが登場しました



6月5日(木)～29日(日)

東部公民館50周年記念 サークル活動紹介展

東部公民館サークル★ALL STARS

東部公民館で活動する「きら星」のようなサークルを紹介する展示を行った。

出展：東部公民館登録団体



6月28日(土)

東部公民館50周年記念 東部ジュニア教室

親子で作る 若葉の森の子だぬきキャンドル

寺院内にキャンドルアトリエを持つ講師による、短くなったろうソクを再利用してつくるキャンドルアートの人気講座。今年は若葉町の子だぬきをモチーフに。

講師：堀川 えりこ さん（キャンドル作家）



7月5日(土)

東部公民館50周年記念 東部ジュニア教室

親子で! きらきら七夕短冊かざり

短冊かざりの吹き流し、着物に加え、50周年記念キャラクター「ちょこぼん」を折った。

講師：巽 照美 さん（日本折紙協会・おりがみ会館講師）

協力：折り紙待夢、桐朋女子中・高等学校



7月23日(水)～8月9日(土)

東部公民館50周年記念 地域連携事業 東部公民館・児童館 夏のコラボ企画

みんな集まれ! たたみでのんびり♪ 赤ちゃんる～む

涼しくゆったりと親子の時間を過ごせるスペースとして和室を開放した。おもちゃや、気軽に相談できる子育て専門員の配置などで東部児童館にも協力いただいた。関連イベントも多数実施。

8月9日(土)・10日(日)

東部公民館50周年記念 体験教室

みんなで描く 階段アート ～ちょこぼんと仲間たち

小野さんが描いた「ちょこぼん」と50周年ロゴの周りに、参加者がアクリル絵の具で好きなイラストを自由に大きく描いた。

講師：小野 正統 さん（市内在住イラストレーター）

完成作品は9/5～24の日程で、回廊スペースに展示した
(東部公民館50周年記念企画展 階段アート作品展～ON THE WALL)

9月11日(木)

東部公民館50周年記念 家庭教育講座

親子で作る! あんよのお月見アート

お月見をするうさちゃんと「ちょこぼん」をお子さんの足形と保護者の指で描いた。ベビーマッサージも併催。

講師：いわた ゆい さん（保育士・わらべうたベビーマッサージ baby more 主宰）



9月20日(土)

東部公民館50周年記念 東部ジュニア教室 東部児童館コラボ事業

かんたんかわいい 「ちょこぼん」のキーホルダーづくり

台紙をなぞってトースターで温めれば完成の、かんたん「ちょこぼん」のプラ板キーホルダーづくり。

講師：東部児童館学童クラブ職員



9月26日(金)～10月19日(日)

調布市制70周年・東部公民館50周年記念 企画展

せんがわ地域の今・昔・写真・地図・人々

これまでの展示で扱った資料に新規資料を加え、再構成した展示。

資料提供・協力：せんがわ21、仙川地図研究所、
桐朋教育研究所、武者小路実篤記念館

9月27日(土)

東部公民館50周年記念 講演会

10代と90代のブックトーク～絵本からその先へ

ブックトークの後には、多摩川の河原で「川の図書館」を始めた沙羅さんのギターと、星さんのチェロと篠笛にのせて、山花さんの絵本の朗読も聴くことができました。

講師：熊谷 沙羅 さん(社会活動家)・山花 郁子 さん(児童文学作家・元東部公民館長)
コーディネーター：星 衛 さん(元編集者・音楽家)



10月7日(火)・14日(火)…バルーンアート／11日(土)・18日(土)…シュロの葉で作る秋の虫

東部公民館50周年記念 シルバー教室 (全2回) ～バルーンアートとシュロの葉で作る秋の虫

受講者の有志には地域文化祭でのイベントにも協力していただき、子どもたちへのプレゼントとした。

講師：バルーンアート…ひきた ようこ さん(サーカスパフォーマー「サブリミット」)
シュロの葉で作る秋の虫…山本 良子 さん(NHK学園写真講師)



10月8日(水)・9日(木)

東部公民館50周年記念 地域連携事業 (全2回) 桐朋生が教える キッズ・ダンス・レッスン

東部公民館のS氏作詞の50周年記念イメージソング「Special Days」にのせて、オリジナルの振付を教わった。有志は地域文化祭のオープニングで発表した。

講師：桐朋女子中・高等学校ダンス部の高校2年生



「Special Days」
配信リンク ▶



11月15日(土)・29日(土)

調布市制70周年 東部公民館50周年記念 東部市民講座

都市に暮らすたくましいタヌキたちと自然環境

実篤公園の観察も併せて行い、タヌキを中心に自然と動物と人の暮らしについて考えた。

講師：上遠 岳彦 さん(国際基督教大学 自然科学部門非常勤講師)

11月22日(土)・23日(日)

戦後80年・調布市制70周年・東部公民館50周年記念 平和事業

満映女性監督・坂根田鶴子とその時代

節目の年、満洲に渡り多くの国策映画を制作した坂根田鶴子とその時代、そして満洲自体についても学びを深めた。

講師：池川 玲子 さん(日本女子大学学術研究員)、加藤 聖文 さん(駒澤大学教授)

12月10日(水)～1月22日(木)

東部公民館50周年記念 企画展

東部公民館～支えてきた講師たちの作品展

出展：東部公民館登録団体講師、事業講師



1月10日(土)

東部公民館50周年記念 新春コンサート

祝福～今ここにはいないあなたと一緒に

桐朋出身のユニットの2人の、8年ぶりの東部公民館での演奏。

出演：Duo-leaf 萩原 可奈 さん(フルート)、前島 七菜子 さん(ピアノ)



東部公民館開館50周年記念キャラクター
「ちょこぼん」



「ちょこぼん」とは

東部公民館の近くの森で暮らしている、たぬきの妖精。

人間に興味津々です。

夜になると、東部公民館で絵を描いたり書道をしたり歌を歌ったり、

こっそり人間のマネをして楽しんでいます。

昼間は自慢の妖術(ドロン)で真っ白に変身して、姿を消しています。

名前の由来は、「調布」の「ちょ」、「公民館」の「こ」、「チョコレート色」の「ちょこ」、

たぬきの「ぼん」です。



〈ちょこぼんのクリアファイルとポストカード〉



各種東部公民館主催講座でも「ちょこぼん」が使用されています(→P.24)

東部公民館 50周年

制作者の紹介



過去に公民館の廊下にて
展示を開催しオリジナルの作品を展示させて
いただきました。



毎年8月に階段アートワークショップで講師を
務めさせていただき、秋の文化祭の時に公民館の階段に
出来上がった作品を展示しています。

東部公民館との関わりは、公民館のスタッフ永井さんからお声がけいただき回廊展にて作品を展示させていただいたのが最初でした。その後、毎年8月に開催される階段アートワークショップにて講師を務める事になり毎年好評の企画として携わっています。アート関連の企画の度に、いつもお声掛けいただき自分のアートワークを市民の皆さんに知っていただく機会を作ってください本当にありがとうございます。

この度、東部公民館開館50周年記念企画でキャラクター「ちよこぼん」の制作に携わり、オリジナルキャラクターが誕生したことはとても光栄に思っています。東部公民館同様「ちよこぼん」やアートで街に彩りや明るさを与えられる力になれば嬉しく思います。今後とも公民館の皆さまと協力してアートな企画を生み出し、公民館が明るい場所になるよう協力出来ればと思っています。

まさとう
小野 正統 (仙川在住イラストレーター)



後列左より 今岡 明子・山本 理恵・佐藤 由里子・下釜 正利・長谷川 和磨・丸橋 和彦
 前列左より 佐藤 とも子・舟本 富士子・三春 フサ江・長谷川 永子・丸橋 敏子 (敬称略)



＜ 公民館で学び続ける私たち～まったり回想座談会 ＞

暑さ厳しい令和7年8月22日(金)午前、東部公民館学習室で利用者6人の座談会が、記念誌編集部員と職員各4人が見守る中、まったりと開かれました。

丸山東部公民館長 挨拶(要旨) 6月14日にせんがわ劇場で記念フェスティバルを実施し、スタッフが大変いい働きをし、自画自賛ですがほぼ完璧、多くの方から素晴らしかったというお声を頂戴しました。記念キャラクターもできて、動画やイメージソングもYouTubeに出ています。本日は東部公民館を長年ご活用いただいている方に、同窓会のようなゆるい感じでお話していただければと思います。

＜永井専門員から座談会の流れと資料説明、出席者と記念誌編集部員の紹介＞

*敬称略

| | | |
|------|---------------------|---------------------------|
| 出席者 | はせがわ かずまる 長谷川 和磨 | 気楽にスケッチ |
| | はせがわ えいこ 長谷川 永子 | 花の輪(絵手紙)・仙川体操クラブ |
| | まるばし かずひこ 丸橋 和彦 | 元 東部短歌の会・元 朗読やまなし |
| | まるばし としこ 丸橋 敏子 | 朗読やまなし・仙川体操クラブ・折り紙待夢 |
| | みほる え 三春 フサ江 | 花の輪・元 東部フォトクラブ・元 さゆり会(華道) |
| | ふなもと ふじこ 舟本 富士子 | 仙川体操クラブ・元 さゆり会・記念誌編集部員 |
| 編集部員 | しもがま まさとし 下釜 正利 | 四季歩会 |
| | やまもと りえ 山本 理恵 | すぎな会(書道)・元 水墨調東会 |
| | さとう ゆりこ 佐藤 由里子 | 花の輪 |
| 進行 | いまおか めいこ 今岡 明子 | すぎな会・東部ヨガクラス |
| | さとう 佐藤 とも子 | 元 嘱託職員 |



佐藤とも子 (以下氏名略) 「東部公民館50周年記念 公民館で学び続ける私たち～まったり回想座談会」拍手！
自己紹介の前にちょっと深呼吸を。大きく息を吸って、…吐いてくださいと言ったら吐いてください。(皆すでに吐いている) はい、リラックスしていただいたところで始めます。
私は東部公民館に15年間勤めましたが、その前に北部公民館に3年半、さらに以前にも東部公民館勤務があり、最初に利用者のお顔とお名前を覚えたのが三春さんでした。
とても見た目が若いけどお孫さんがいるんだよと職員から聞いた後、お孫さんを背負って窓口にいらしたんです。

三春 私が？

—— もうびっくり栗太郎、本当に驚きました。(笑い) では、その三春さんから自己紹介を。

三春 今は絵手紙をやっています。三春です、多分皆さんもご存じだと。(笑い)

—— 最初に公民館に来られたきっかけは？

三春 ここを紹介してもらったのは、近所の方が5、6人来ていたんです、昔。ところがみんな辞めまして、今は私1人なんです。最初に利用させていただいた時は、お花をやったんですね。

—— お花はサークルに入られたんですか？ それとも主催事業ですか？

舟本 さゆり会に入っていましたよ。

—— さゆり会ができた時には？

舟本 多分いらっちゃったと思う。

三春 あらそう。(笑い) 確かに入っていましたけど、それがいつ頃かわからない。最初は絵手紙でお花を描いて、習字とペン字をやって、それから写真などいろいろやりました。

—— では舟本さん。

舟本 舟本富士子と申します。利用団体の一覧で言うと、さゆり会(華道)が最初らしいんですけど、その前に後から利用団体になった仙川体操教室。1975年に体操クラブに入っています。その時は児童館の体育室みたいなところで活動していました。さゆり会に入ったのは1981年だと思います。いろいろ事情がありさゆり会はやめて、続いているのは、仙川体操クラブです。ですから、もう50年。

—— 今日は「回想座談会」、回想法は認知症や高齢者の治療に関わり、昔のことを思い出すことで脳を活性化させるという効果があるらしいので、皆さんしっかりと回想していただいて、脳を活性化していただきたいと思います。それでは、丸橋さん、ご夫婦での参加です。



<国語好きの夫が妻の朗読学習に興味をひかれる>

丸橋敏子 丸橋敏子です。私は2010年に東部公民館で朗読の講座がありまして、その時に参加しました。その後、翌年朗読やまなしの会が発足して、それからずっと続けて今年で15年になりました。今は仙川体操クラブと折り紙待夢たいむにも参加しています。

—— 朗読講座は私が担当した事業で、とても楽しい事業でした。結構たくさんいらっちゃって。

丸橋敏子 そうですね、すごく参加者がいらっやいまして、私も全部は参加できなかったんですけど、佐藤さんにご後、朗読の会が発足すると聞いて、それで参加させていただきました。

丸橋和彦 丸橋和彦です。私が公民館に触れ合ったのは2008年、平成20年ですけども、公民館職員だった井上さんが担当された「全く初めての短歌」という講座が4回連続でありました。講師は佐波洋子先生で、



非常に素晴らしい講座で感動いたしました、もともと国語が非常に好きだったんですけども、短歌というのはほとんど触れたことがなかったんですね。漢詩なんかは勉強していたんですけども、非常に面白くて、何か月かたってから(「東部短歌の会」)に入会をしました。ちょうど62歳で定年しまして、友達が東京農大の卒業生だったので、「丸さん、定年になったら東京農大の成人学校に入れ」と、60歳からの農業実習にも入りまして、ちょっと短歌の会への入会がずれたんですけど、それからずっと続けました。井上さんの次に私が会長をやりましたが、講師の佐波先生が昨年、病気で短歌が続けられなくなり、継続希望もありましたが、先生が見つからないこともあり、去年の9月で、残念ながら解散しました。朗読やまなしの方はですね、家内が毎晩朗読の勉強をしております、特に『清兵衛と瓢箪』とか、宮沢賢治の『やまなし』とかですね、面白い話を聞いていました。また、コロナの前に朗読やまなしの二人の男性が、病気の関係で引退しそうで男がいなくなっちゃうということで、じゃあ私が入ろうということで入りました。朗読も好きでしたが、喉の手術をしたので、田村先生が朗読をやめなさいと、喉に悪いんだと言われまして、残念ながら両方のサークルを辞めたという感じですね。

—— 続きまして、長谷川ご夫妻、お願いします。

長谷川和磨 気楽にスケッチの長谷川です。私は65歳の3月に退職したんですね。2007年だったかな。今年84になりまして、振り返ってみますと19年こちらにお世話になっています。長い間ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。(笑い)



長谷川永子 長谷川永子です。花の輪で絵手紙をやっております。滝坂小学校の作品展でPTAコーナーを見に行った時、花城先生の絵手紙を拝見しました。父が末期癌で入院しているので、私も描きたいと思って先生にお話したら、西部公民館でやってるからよかったら来ない? って言われて、1ヶ月ぐらいした時に、東部にも作りたいわねって話で。平成元年の4月から花の輪という名前で絵手紙を始めたんですね。最初は同好会みたいな感じで。そしたら、ここの使用料をお支払いしなくちゃいけなくて、自転車操業みたいに、お月謝をみんなから集めてそれを払う、先生にもってというのはすごく大変だったんですね。でも何とか頑張って4ヶ月ぐらいした時に、文化祭の話があって、私、公民館のこと何も知らなかったんですね。何するんですかって言ったら展示ですよって、どういうことやるんですかと、1から全部聞いて。そしたら使用料も免除になりますよって。それにひかれてみんなで話して、それいいねって言って、じゃあ(登録団体に)入りましようって。そんなことから、絵手紙ずっと36年間続けています。

—— 絵手紙サークル花の輪さんはとても素敵な冊子も作られて。

長谷川永子 そうです。持ってきました。公民館にもあると思います。12年目にかな、出したんですね。2000年だから記念に出しましょうってことで。

—— 東部公民館50周年記念で、またお作りいただければと。

長谷川永子 この時はまだ皆さん若かったんですよ。今最初から入ってる人が6人かな、この本を作った方も半分以上が亡くなられているので、それだけ高齢化ということなんですね。

—— サークルを続けていくのは難しいと思いますが、長く続けられる秘訣で公民館が近くにあるということが大きな理由の一つではないかと。続けられた理由で、何か思い当たることはありますか。

長谷川永子 仲間ができて楽しく会話できたり、作業ができたり。私たちは本を出したことによって絆が深まったって気がしますね。公民館の方から廊下での展示という話がきて、話し合っただけでやりました。近くにある森のテラスでも作品展をやって、その時に会員の相崎さんがピアノやってくれたり、やっぱりそれもみんなここでやっていたおかげでそういうこともできたし、森のテラスでは2回展示してるんですね。



< 単身赴任の夫へ絵手紙を送り、スケッチで返信する >

—— 丸橋さんがおうちで奥様が朗読学習をされていて、それをお聞きになっていいなと思ったというお話がありました。長谷川さんのお宅では、絵手紙やスケッチのお話をされたことはありますか？

長谷川永子 ありますね。主人が単身赴任で大阪に3年半行っている時に、絵手紙で出したら、ポストを見るのが楽しみだと言ってくれたんですよね。それはちょっと良かったかなって。主人もそれで近くに出かけたらスケッチして送ってくれたり。それは絵手紙やって良かったなど。

—— いい話ですね。

長谷川永子 なかなか電話だけじゃあれだけでも、細かいことは。字だけよりも楽しいかなと思って。

—— ご夫婦以外にもご家族で参加されている、娘さんが参加されたと聞いていますが。

長谷川永子 お正月用のしめ飾りですか。

—— 丸橋さんも娘さんが参加されてましたし、お孫さんも参加されていて、すごくいい家族だなと仕事しながら見ていたんですけど、ご家族で公民館のお話をされてましたか？

丸橋和彦 文化祭の時には娘と孫も小さかったので、オープニングだとかフィナーレだとか、あと作品を見にとか、一緒に写真を撮ったり、よく来てましたね。中学・高校になるとなかなか時間が合わなくなりますが、幼稚園や小学校の時は子どもたちも来ていました。フィナーレの若葉マジックのマジックが本当に面白くて、子どもたちも大喜びでした。オープニングなんかでもね、歌を聴いたりして子どもたちも楽しめる企画でしたので、公民館、家が近い関係もあって、非常に身近でしたね。



—— お孫さんがよく来てくれていたのは家庭教育講座リトミックで、グーチョキパーで何作ろうというのがあって、お孫さんがとっても上手にやっていた思い出があります。

丸橋敏子 リトミックに参加したり、その参加者の中で娘は中学時代の同級生と一緒に出会ったりして。

—— そんなつながりもあるんですね。今までのところで質問やその話良かったということは？

舟本 丸橋さんはお子さんも一緒に住んでいらっしゃるんですか？

丸橋敏子 はい。

舟本 公民館近いですね。

長谷川永子 さっき、長く続ける秘訣みたいなことをおっしゃってましたよね。その秘訣なのかどうか、やっぱりみんなで話し合っただけで、私たちは一緒に旅行。バスとかチャーターして、そういうのが3回ほどありまして。廊下での展示もただ描いて出すんじゃなくて、お雛様にしましょうとか、5月人形にとか、その時期に合わせたものをみんなで選んで描いたりして、いつも話し合うということが一番長く続いた秘訣かなと私は思うんですね。話し合ったり、一緒に出掛けたり、食事したり。いつも同じメンバーと限らず入れ替わりもあったり、それも長く続く秘訣かなと。

—— 三春さん、写真のサークルの時に撮影旅行に行ったことありますか？

三春 そういふの忘れちゃって。写真ではいろんなところへ行きましたね。北海道から、京都、奈良へ撮影にね。写真は素晴らしかったですね。

—— 芸術鑑賞講座とか高齢者学級でバスで行くことはありましたが、最近はないんですね。

丸橋和彦 コロナになってからあまり行かなくなったんですね。「東利連」のバス研修旅行とか。コロナが影響しましたね。
—— サークルをお辞めになる方がご挨拶に見えることがあります、家族の介護とご自分の病気という理由が多かったようです。トラブルという話も聞いたことがあります、その辺はどうでしょう。

丸橋和彦 短歌の会なんかでは、やっぱり女性が多かったせいもあるし、喧嘩するような人はいなかったですね。ただ、レベルが高すぎて、初期の頃はそういう人は満足できなくて辞めたとかね。初級中級程度だと思んですけども僕らは。あと、東部で頑張ってたんだけど、西部に移ったり、ほかの会に移ったりはありましたけれども、仲違いはなかったですね。みんな仲良かったですね。

長谷川永子 介護は私もあったんですね。9年ぐらい寝たきりでしたから。でも、絵手紙があったから続けられたというのもあるんですね、反対に。家にずっといたら、きつと嫌になっちゃうと思うんですね。そこからちょっと抜けてここに来れる。大変な時は来れなかったし、1年ぐらい休みましたけど、でも月1回は来ようとか、抜け道って言ったらかおしいんだけど、だから私は続けられたかなと思いますね。会の人みんな優しくかったというのもありますけど。
お友達が怪我して入院した時は、病院に絵手紙を出したりして、そうすると、病院にいる方がすごく励みになって、退院してからね、リハビリ頑張ったよとかって聞くとすごく嬉しくなっちゃって。何か言葉ももらって元気づいたとか、暑い時に涼しい葉書ももらって嬉しかったとか電話ももらって嬉しくて。それこそ本当に下手でもいいからって感じですけど、でも何かそれがすごく良かったですね。

長谷川和磨 僕もね72歳の時から脳梗塞を患って、それで運転しちゃだめだって言われたんですよ。それで免許証を返納して、それによってゴルフも釣りもできなくなったし。もう唯一の楽しみは、公民館で月に2回スケッチでワイワイ集まってするのが楽しみだったんですね。

<体操クラブを続けて50年、骨折の治りも早かった>

舟本 私は最初本当に運動音痴で、体を動かすのが苦手で、特に球技なんか全くできなくて。そういう私が運動音痴なのを主人がそんなんじゃ体に良くないと、どこかに行って何かやってこいと、そういう風に言われまして。子どもも小さかったので、近くじゃないとまずいなと思っていろいろ探しました。ここで体操をやっているということで、その時に入りました。ここには1974年に引っ越してきたんですけども、その次の年には体操クラブに入って、週に2回とか、仲間の人たちに遅れないようにやるのが精一杯でしたけれども、体を動かしていると、やっぱり今まで動かなかった筋肉が動くようになるんですね。そういうのがちょっとわかって、これは続けた方がいいなっていうことで、もうずっと50年くらい続けています。



—— ずっと続けられているというのはすごいですね。だから若々しいんでしょうね。

舟本 骨折も何回かしたんですけど、治りも早かったし、体のためにはとても良かったと思っています。体操の場合はね、仲間同士でおしゃべりするとか、そういうことは全くないんですよ。先生がすごい熱心で、今はヨガ専門みたいな感じですけども、全くおしゃべりすることもないし、ヨガだけでももう終わったらさっと帰るという感じです。

～館長からのお菓子と編集部員さんが淹れて下さった飲み物をいただきながら、しばし休憩～

<地域文化祭の輪番制で見えてきた、実のあるサークル間交流>

—— 地域文化祭について伺います。文化祭の役員や、作品出品にまつわる思い出をお願いします。

長谷川和磨 何年前に、役員が輪番制に替わって。グループを3つに分けて交代で運営されるという輪番制になって良いことは、交代できることのほかに、全員参加の精神で、グループで全員参加でないと運営

東部公民館を普段から利用している方や、講師、元職員、地域の方など、多くの方から記念誌のために寄せいただいた原稿をご紹介しながら、30周年記念誌発刊以降の20年を中心に、これまでの東部公民館の歴史を振り返ります。

主催講座・教室等

市民講座や文化教室などを中心に、公民館では様々な主催事業を実施しています。市民講座では歴史講座や芸術鑑賞講座は人気が高く、毎年実施しても、すぐに定員に達してしまうほどです。文化教室では調理室があることから、料理教室やお菓子作り教室は多く実施していますが、抽選による申し込みは定員よりもかなり多くの参加希望があります。

また、対象が決められたものもあり、青少年や高齢者など、年齢に応じた事業も行っています。高齢者の場合は、健康や身体を動かすことを取り入れたものも展開してきました。

これらは、公民館としての必須課題や社会の^{すうせい}趨勢をとらえたものや、参加者アンケートなどによる意見から企画にあたっていますが、平成20年代にあっては、「地域」を生かした企画に重きを置いてきました。テーマ・内容だけでなく講師もまた地元を意識して進めてきました。令和3年度には近隣の桐朋女子中・高等学校との連携の取り組みが始まり、地域との関わりがより深まる中、事業を進めています。



市報で見つけた文化祭の行事「ヨガ体験会」への参加、それが東部公民館との最初の出会いです。会場には「東部ヨガクラス」のメンバーが多数おられ、その中のお一人が息子の小学校時代のクラス担任 H 先生でした。先生の熱心なお誘いで即入会を決めて現在に至っております。気がつけば、古い方から3番目の古参メンバーとなりました。辞めないでコツコツと続けてきた、ただそれだけのことなのですが……。

ヨガを始めて何年か後、ヨガクラスのメンバーの紹介で俳句のサークルにも入会しました。現在、読売新聞俳壇の選者である小澤^{みのる}實先生が指導しておられた「仙川句会」は、とても充実した楽しい時間でした。先生が辞められた後もこの会は続いていて、月に一度の句会は、今の私にとって生きがいの一つと言えるかもしれません。

ヨガクラスや句会で公民館に来ると、回廊スペースのさまざまな展示会に出会うことができます。また、公民館主催の講習会や演奏会に電話や往復はがきで申し込みをし、これまでいろいろな催しを楽しませていただきました。クリスマス・コンサート、映画の上映会、「数独」の手ほどき等々。バスツアーで柴又帝釈天に連れて行ってもらったのも忘れられない思い出です。

こうして振り返ってみると、東部公民館は、私の人生に数多くの彩りを添えてくれた大変貴重な存在だということがわかりました。公民館と職員の皆様方へ改めて心より感謝申し上げます。

岡本 康子（東部ヨガクラス 会員）

東部公民館だより

発行・調布市東部公民館 〒182-0003 調布市若葉町1-29-21

TEL (03)3309-4505

FAX (03)3305-3456

E-mail: toubuk@city.chofu.lg.jp



メールアドレス



イベント一覧



東部公民館開館50周年記念誌

公民館だよりを制作してきて

公民館専門員 永井 知江

公民館だよりは、専門員が毎月交代で作成しています。校正は担当講師と全職員で行い、約2週間で整えています。これから開催される公民館事業が、お弁当の具のように彩りよく配置され、これまで行った事業の報告を、俵型ご飯のように入れられればベストです。

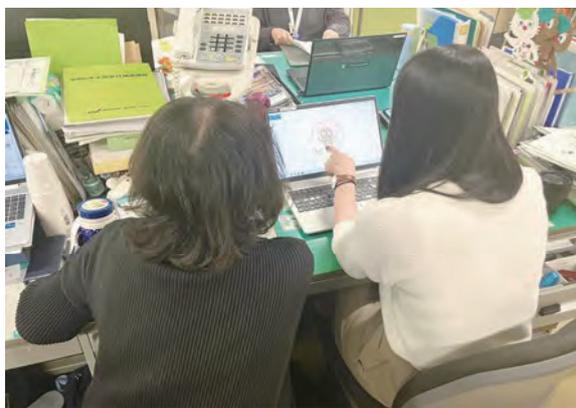
この約10年、公民館だよりには、3回の転機と危機がありました。1回目は、「ひとこと界限」というコラム。平成25年度に始まった編集後記のような小さなスペースは、職員の入れ替わりの中で4年ほど姿を消します。駆け出しの私にとっては、地域の景色を「よく見る」きっかけになりました。2回目は令和5年度、公民館だよりの「開き」が縦書きから、横書き仕様が変わったこと。発刊から記事は縦書きが主流でしたが、近年は横書きの記事が9～10割という現状により、三館同時に変更しています。

●ひとこと界限●
東部公民館の利用サークルから高齢化で会員減少と役員のなり手が少ないという声が数年前から聞こえてきます。「頭の体操」で有名な多胡輝さんの著書に、ある会で百歳を迎える大先輩にボケないための秘訣を尋ねたエピソードがあります。答は「きょうよう」と「きょういく」。教養と教育かと思ったら、「今日用があつて、今日行く所があること」だそうです。
今日用があつて行く所のリストに東部公民館を加えてみませんか。お待ちしております。

―ひとこと界限―
東部公民館では東部やまぼうしの会が、高齢者との食事会とふれあいを通して地域とのコミュニケーションを広げる活動をしています。ヤマボウシはハナミズキとよく似た樹木で三鷹市新川の仙川沿いに見ることが出来ます。花言葉は「友情」。散歩していてヤマボウシを見つけたら公民館のことも思い出してください。

3回目は危機ともいえる事態。現在は平均6,500部発行の公民館だよりですが、配布先の8割は近隣の小中学校で、これが命綱になっています。ところが、昨今学校の配布物は、紙ベースではなく、保護者へのお手紙やその他の案内はすべて「すぐる」というアプリを通してスマートフォンで見るのが当たり前。公民館だよりだけ配布するのは…という学校側のお話も当然です。今回は、学校のご厚意で配布を続けられることになりましたが、公民館だよりの在り方も含めて、今後直面していくのであろう問題を目の前に提示された気がしました。

何かにつまづいたとき、私はこれまでの公民館だよりをめくってみます。新しいと思ったことが何十年も前から行われていた衝撃。求めているものが変わらないのだという確信。自分たちが作っている公民館だよりは、公民館の心臓部なのだということを忘れずに、時代とともに老舗の味も少しずつ変えていかなければと思っています。



東部公民館利用団体連絡会

公民館の横糸

生田 周治（元東部公民館長）

戦後の社会教育とともにその中核を担ってきた公民館ですが、2010年代に入ると「個」の尊重と「生涯学習」の機会提供に視点が向けられ、ともすると社会教育終焉論とさらに公民館解体論まで飛び

出すようになりました。そんな時期(2012年)に東部公民館利用団体連絡会(東利連)が発足しました。既に西部公民館と北部公民館には利用団体連絡会が発足していましたので、ようやく3公民館の利用団体(者)が活動の場に自らの声を反映させる力が強くなりました。では、なぜ公民館で活動する人たちに横のつながりが必要になるのかを少し考えてみたいと思います。公民館はだれでも自由に学べる機会を作っています。そのうえで学習をさらに発展させる方法を提供しています。はじめは公民館主導で学習者は従の関係ですが、公民館に集う人たちと繋がることで自らの学習がより深まり、学習環境の改善についても提言できるまで成長します。そこで公民館を利用している他の団体(人)はどうなのだろうと考えるようになり、多くの人が望むあり方を横糸の力で実現していけるのです。ここまでは公民館利用団体連絡会の一般的な役割になりますが、さらに東利連では横糸を地域に広げ公民館での学びを地域の課題解決にも役立てたいという思いで、おらほせんがわ夏まつりに参加して東部公民館をアピールする取り組みもしました。

人生100年時代と言われていますが、東部公民館はまだ50年です。生涯の学習を保障し、そこに集う人たちがつながり、自分の地域福祉を意識できるような場として、百年続きますように願っています。

生田 元館長には今年度、地域文化祭内公開学習会のファシリテーターを務めていただきました。詳細は P.18 へ

桐朋女子と東部公民館の連携を通じた 学校教育と社会教育の融合

吉崎 亜由美（桐朋女子中・高等学校 社会科教諭）

本校と東部公民館の連携は、2021年に高校3年生4人が行ったプロジェクト「地域×桐朋女子～地域に根付く学校になるために～」を皮切りに始まった。筆者はこのプロジェクトを引き継ぎ、公民館の方と共に、教育連携を進めてきた。例えば、2022年度の連携は以下の通りである。

5月～7月、地域連携事業「心を通わせるコミュニケーション講座」（全3回）を開催した。その一環として、地域の方をT-Project（プロジェクト型探究）の時間に招き、桐朋生がインタビュアー、地域の方がインタビューとなり、関係性の築き方やコミュニケーションの方法を学んだ。6月～7月、地域連携事業「今なぜ注目？学びで



つながる南極と私たち」（全3回）を開催した。そして、7月13日に本校と南極・昭和基地をつなぐ「南極教室」を地域の方が観覧した。

第67回東部地域文化祭のテーマは「平和こそ花咲く文化の源」。文化祭紹介動画のナレーションを桐朋生が務めた。プレ文化祭には社会歴史研究部が展示を行い、ボランティアグループ「空」が玄関装飾を手伝った。また、10月15日に座談会「地域のつながりと、私たちの平和～今の時代に思うこと」が開催され、筆者がパネリスト兼コーディネーターとなり、地域の方と、身近な地域のつながりを通じた私たちにとっての平和について考えた。10月29日、オープニング・イベントに音楽部音楽班がビデオ出演で演奏した。11月5日に「桐朋生とミニビブリオバトル～3分で伝える本の魅力」が開催され、中学生と公民館の講座参加者がおすすめの本を3分で紹介し、質疑応答を行った。11月6日には、朗読やまなしと演劇部との共演で朗読を行った。

2月には、地域連携展示「桐朋女子・作文コンクール桐華賞&書道部作品展」を行った。そして、2023年3月に地域連携事業「心を通わせるコミュニケーション講座」Part2（全2回）を開催し、T-Projectのポスターセッションに地域の方が参加し、発表者への質疑応答や発表の評価を行った。

さて、学校と公民館が連携することは、どのような意味があるのだろうか。それは、人々がコミュニケーションをしながら、互いの文化や価値観を理解し、新たな学びを創造することを意味する。前述の連携例から分かるように、大人と子どもには経験の差はあるが、学びには年齢の差はない。そして、年齢の違いなどの異種混交性のある空間における学びは、互いの価値観を変容させる。価値観の変容が、学校や公民館のよい変化につながればと考えている。

桐朋女子中・高等学校以外にも以下のような学校・地域連携事業をしてきました。(抜粋)



★東部児童館

- ・地域連携事業でのコラボ企画

★東部保育園

- ・地域文化祭「文化ふれあい広場」と同日開催の
バザー・カフェ(父母の会企画) (～R元)

○若葉学校地区協議会

- ・地域連携事業「防災座談会」「防犯座談会」の共催



絵・写真

平成17年度には4つの絵画サークルがあり、うち1つは夜間利用のサークルでした。その夜間利用のサークル、「サークル線」は平成27年度頃に解散しました。令和4年度には「杜の会」も解散しました。「グループ・キャンバス」と「気楽にスケッチ」の2つが現在も活動しています。

「サークル線」は昭和55年度に発足し、「線」という名は、「絵の基本である線をネーミングに」ということで決まったそうです。夜間に開催されたこともあって、仕事帰りの参加も多く、技術的にも一人で描いていけるレベルの高さがありました。仕事の合間に描く人が多かったので、テーマとしては一人では描く機会の少ない人物画から始めていました。

開館当初は「サークル線」のように、夜間でも定期的に参加できる催し・サークルがいくつか始められ、それが30年、40年と続けられているサークルがあることは驚きです。今よりも、東部公民館周辺は静かだったと思いますが、参加者は活動場所を求めて集まった「つながり」が強かったということでしょうか。

また、絵手紙の「花の輪」は現在も継続しています。それから、「水墨画」のサークル「水墨調東会」がありました。地域文化祭で和室に掛けられた額や軸の作品は、部屋の雰囲気によく合っていて、書道作品と並んで、互いの素晴らしさを引き立てていました。残念ながら平成30年度に解散しています。

写真のサークルは古くは2サークルありましたが、平成17年度以降にあっては「東部フォトクラブ」1つで、現在も活動しています。近年では、公民館主催教室で取り上げたゼンタングルを、継続して学びたいという話になり、令和4年度に「ゼンタングルの会」が生まれ、現在活動中です。

30年余前に遡りますが地元滝坂小学校、PTAの仲間で絵手紙「花の輪」サークルが誕生、同じ趣味を持った教室には笑い声が絶えません。そしてそれぞれを思いやりながら通いやすい場を皆さんで育てて来ました。

思い出の中には、近くの「森のテラス」で絵手紙展を3回したこと、会員の中のピアニストの演奏付きという企画は大変好評でした。

これからも手描きの絵手紙、心の温もりを発信し続けていきます。今では東部公民館団体の中では平均年齢が最も高いサークルですが、若い方の加入もお待ちしています。

さちこ
花城 祐子(花の輪講師)



令和7年度に東部公民館で活動している各サークルの皆さんにも、これまでの活動を振り返りながら原稿を執筆していただきました。登録団体成立年順に掲載していきます。

1 仙川体操クラブ ヨガ 昭和49(1974)年～

この会の発足は当時仙川商店街の靴屋さんの奥さんが、地域の方々との親睦と身体を動かす楽しさを伝えたい…と言う思いが始まりだったと聞いております。今は三代目の指導者の朝日先生が、ストレッチ、呼吸法、姿勢、ヨガと多くのメニューを用意して下さり、健康の基本を学んでおります。現メンバーは15名、皆さん長く続けている方ばかりでこの会それぞれの方の心と身体の拠りどころになっていることが伺えます。元気と笑顔が素敵な会です。

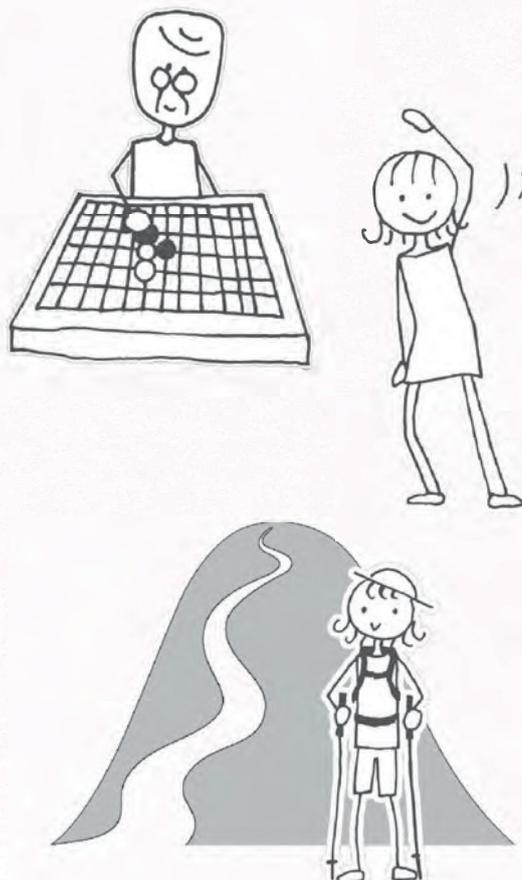
2 東部碁友会 囲碁 昭和50(1975)年～

「囲碁」サークルは東部公民館と同様に50年近い歴史があります。現在でも途切れることもなく継続できていることに感謝しています。会員の皆さんは健康維持以上に、囲碁の交流による人間関係ができることで、「精神的安定」ができることを、重要と考えている人が多いようです。また、私は創造主の動画を日本語に翻訳するボランティアも週3回おこなっています。囲碁もそうですが「慈悲ある世界の創造」も同様に、一極論、二極論、三極論、多極論と思考次元を上げることで実現できます。囲碁でもこの思考次元を上げる訓練を、自然に楽しむことができます。

3 四季歩会 登山 昭和51(1976)年～

四季歩会は東部公民館開館1年後に発足し、令和8年には50周年を迎えます。過去の資料によれば、第1回登山は東京・奥多摩の日の出山に始まり、その時代時代の会員の経験と知識により、関東近県から中部、東海、東北、北海道、そしてネパール遠征と実施されて来ました。山にはいつも困難と危険が伴います。でも心を震わすロマンもあります。最近では、高齢化している会員も増えている中で高い山のみならず、バス山行、軽いハイキング、歴史を訪ねる街歩きなど、多くの会員が参加出来る企画も行われております。

会員同士の交流を深め、お互いの信頼の上に四季歩会がみんなのオアシスとなり、東部公民館とともに末長く歩んでいくことを願っております。



箱もあるよ!

ウラも...



みんなの東部公民館カルタ 完成!!

東部公民館で活動する登録団体の皆さんや、東利連、東部公民館職員…
東部公民館の総力を結集して読み札を考えたオリジナルカルタです

企画：東部公民館利用団体連絡会

記念誌編集部員でやってみました

- 👑 12枚 下釜編集部員 (札読み：佐藤 茂)
- 👑 9枚 遠山編集部員
- 👑 7枚 舟本編集部員
- ④ 5枚 三宅編集部員・山本編集部員
- ⑥ 4枚 今岡編集部員 ⑦ 3枚 佐藤編集部員



作り方 必ず倍率 100%で印刷してください

- ① 右の二次元コードから、ダウンロードページを開きます。(調布市ホームページ内)
- ② 「札」の PDF を開き、1～12 ページを印刷します。
- ③ ウラ面を印刷する場合、②で印刷した12枚のウラに向きに気を付けて13ページを印刷します。
- ④ 箱が必要な場合、「箱」の PDF を開き、1・2ページをA3両面に、3ページをA4にそれぞれ印刷します。
- ⑤ 札をオモテ面の外枠と線で切り取り、箱に記載の指示にしたがって組み立てます。



<読み札一覧>

| | | |
|---|-----------------------------------|----------------|
| い | いつでも楽しく自由に学べる公民館 | 調布市公民館を考える市民の会 |
| ろ | 朗笑の輪 仲間の集う 学習室 | すぎな会 |
| は | 華やかに 文字を彩る カリグラフィー | カリグラフィー薫風の会 |
| に | にこやかに みそで花を 咲かせましょう | グループみその |
| ほ | ほがらかに楽しくおけいこ 葉月会 | 茶道 葉月会 |
| へ | 平成、令和と未来につながるサークル | 気楽にスケッチ |
| と | とぶような あっというまの 五十年 次を目指すは 百周年 | グループ・キャンパス |
| ち | 調布の野菜描いて 絵手紙で発信 | 花の輪 |
| り | リモートに 意外と役立つ 撮影技術 | 東部フォトクラブ |
| ぬ | 塗っただけ 広く感じる 会議室 | 東部公民館職員 |
| る | ルンルンと ステップ踏んで ダンスレッスン桐朋生 | 東部公民館職員 |
| を | WOという 歓声が上がる 手品サークル | 東部公民館利用団体連絡会 |
| わ | 輪を広げ 笑顔広がる 公民館 | 東部暮友会 |
| か | 家庭料理 みんなで楽しく 作ります | 東部やまぼうしの会 |
| よ | 余裕です 胸張り五分後 足がつる | 四季歩会 |
| た | 楽しいよ 皆で歌えば 幸せいっぱい | ぐるうぶ紫陽花 |
| れ | レッスンで 心も身体も 健やかに 仙川体操クラブ 楽しいよ | 仙川体操クラブ |
| そ | そうなのよ！ 長生きの秘訣は ヨガなのよ！ | 東部ヨガクラス |
| つ | 連なって 皆んなで演武 太極拳 | 太極拳わかば |
| ね | 年輪を 刻んで笑顔の 朗読やまなし | 朗読やまなし |
| な | 並べてみると わかる人生 エッセイ集 | 調布エッセイの会 |
| ら | らんまん 花咲く笑顔 ここ東部 | 東部百人一首の会 |
| む | むずかしい字も スラスラと 虹の会 | ペン字虹の会 |
| う | 麗しの 細字毛筆 あこがれて 早八年嗚呼 それなのにそれなのに | 美しい細字楷書の会 |
| の | のんびりと 心も身体もストレッチ なまのピアノに 1・2・3 | 脳トレリトミック「とも」 |
| お | おもいきり 腹式呼吸で吹いて爽快 スポーツ吹矢 | スポーツ吹矢 東部 |
| く | 苦しみか 笑顔に変わる ストレッチ | ゆったりストレッチ |
| や | やりたい事 なりたい自分に 残り10秒 | ピラティス&ヨガの会 |
| ま | まかふしぎ もようからめて 絵になった ゼンタングルは おもしろい | ゼンタングルの会 |
| け | 毛糸の色合い楽しんで 大事な衣服をダーニング | 彩りダーニング |
| ふ | 二人なら できると信じて タッグ組む 公民館専門員 | 東部公民館職員 |
| こ | 公民館 人生100年時代とともに 歩んでく | 東部公民館職員 |
| え | 江戸時代まで 現代の問題をさかのぼって 考えてみよう | 日本史を学ぶ会 |
| て | 提案を 重ねてみんなで 創る文化祭 | 東部公民館職員 |
| あ | 歩いて通える 笑顔あふれる 公民館 | 東部公民館利用団体連絡会 |
| さ | さあ今日も 友と一緒に 学ばー日 | 東部公民館利用団体連絡会 |
| き | 来て見て触れる 秋の文化祭 | 東部公民館利用団体連絡会 |
| ゆ | 夢うつつ 古代ロマンの 歴史講座 | 東部公民館職員 |
| め | 目に触れる 作品全てが 日頃の成果 | 東部公民館利用団体連絡会 |
| み | みじん切り きっと得意技になる 男性料理 | 東部公民館職員 |
| し | 新キャラクター「ちょこぼん」 あっちでもこっちでも大活躍 | 東部公民館職員 |
| ひ | ひろがる笑顔 サークル活動の輪 | 東部公民館利用団体連絡会 |
| も | もう50年 まだ50年 とうぶ爺 | 東部公民館利用団体連絡会 |
| せ | 仙川まつり 揃いの法被 東利連 | 東部公民館利用団体連絡会 |
| す | 水金日 和室に響く 石の音 静寂の中 暮友会 | 東部暮友会 |

<絵札一覧> 絵札の画像も多くの利用者の皆さんにご協力いただき撮影しました



Toubu Chocopon



カッコよく
書いてみた





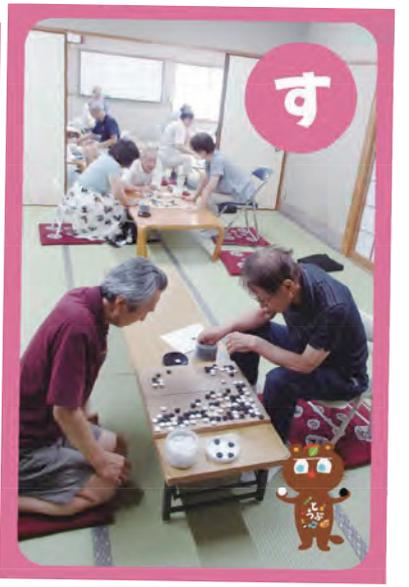


ひっかけ…?



かんむり







調布市東部公民館

各部屋の様子



学習室



会議室



調理室



和室(大)



和室(小)



保育室

基本データ

所在地：調布市若葉町1丁目29番地21（京王線仙川駅下車南西方向に徒歩8分）

起工：昭和49年9月 竣工：昭和50年3月 開館：昭和50年6月

総工費：55,300,000円（エレベーターを除く）

敷地面積：2,185.82㎡（保育園・児童館含む） 床面積：438.26㎡（公民館のみ）

構造：鉄筋コンクリート造2階建 施設形態：複合施設 ※公民館は2階部分

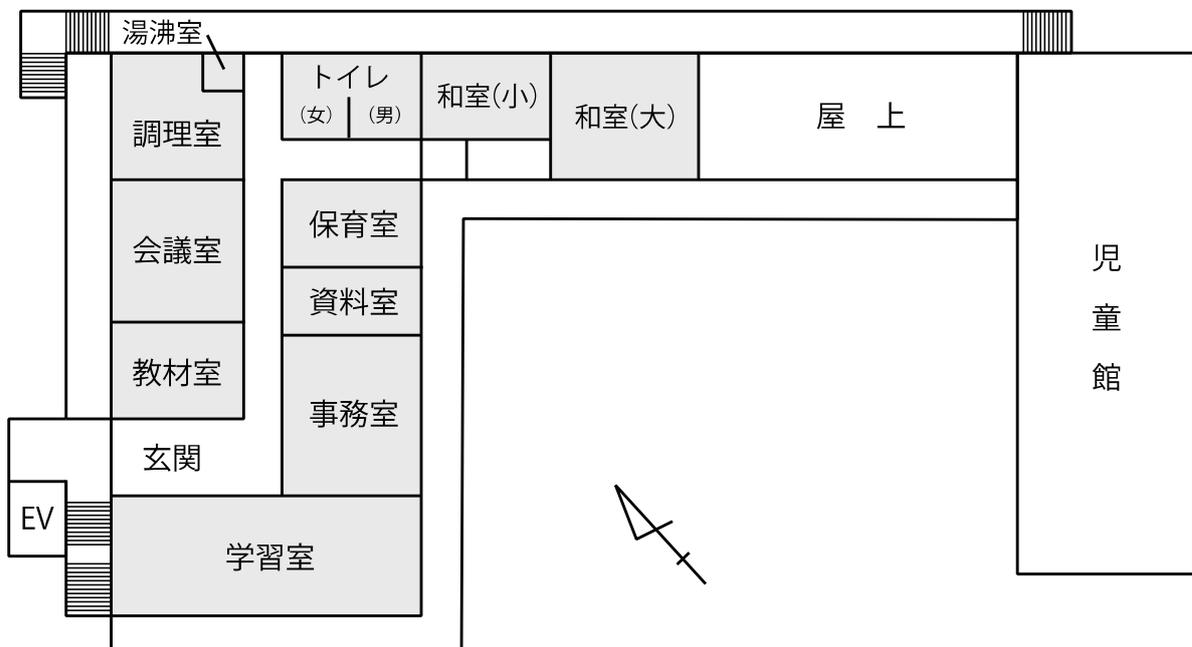
エレベーター：あり ※令和5年度に建物の外部に設置

駐輪場：自転車約14台 駐車場：無し

開館日時：火曜日から日曜日まで 午前9時から午後9時30分まで

休館日：毎週月曜日・年末年始

建物・施設内容↓



| 施設名・室名 | 床面積 | 定員 | 施設名 | 床面積 |
|---------|---------------|-------------|----------------------|----------|
| 【東部公民館】 | | | 【東部保育園】 | 590.60㎡ |
| 学習室 | 83.7㎡ | 50人 | 【東部児童館】 ※学童クラブを含む | 462.44㎡ |
| 会議室 | 33.5㎡ | 20人 | | |
| 和室(大) | 24.5畳 } 81.1㎡ | 30人 | | |
| 和室(小) | | 15.0畳 } 20人 | | |
| 調理室 | 29.5㎡ | 16人 | | |
| 保育室 | 22.7㎡ | 7人 | | |
| 湯沸室 | 3.6㎡ | | | |
| 資料室 | 22.1㎡ | | | |
| 教材室 | 17.5㎡ | | | |
| その他 | 144.56㎡ | | | |
| 合計 | 438.26㎡ | | | 1053.04㎡ |

平成17(2005)年度

| 事業名 | 内容・テーマ | 講師・出演者名(肩書き) | 回 |
|----------------|---|--|---|
| 東部ジュニア講座Ⅰ | 子ども囲碁教室 | 東部基友会会員の皆さん | 4 |
| 東部ジュニア講座Ⅱ | 盲導犬ウィットくんふたたび | 浅野 真史・盲導犬ウィットくん | 1 |
| 東部ジュニア講座Ⅲ | 夏休み陶芸教室 | 小野 千鶴(陶芸家) | 1 |
| 東部ジュニア講座Ⅳ | ゆかた着つけ教室 | 西村 ミチ子(着つけアドバイザー) | 1 |
| 夏休み学習室開放 | 涼しい夏休み特別自習室で勉強しよう(7日間) | | |
| ファミリーコンサート | 黒坂黒太郎 春を呼ぶコカリナの音色 | 黒坂 黒太郎(コカリナ奏者)・矢口 周美(オートハープ奏者・ボーカリスト) | 1 |
| 東部サロンコンサート | フレッシュな音色の仲間たち | 桐朋学園学生(岡部 憲・新倉 瞳・柘植 涼子) | 1 |
| くらしのセンスアップ教室Ⅰ | 初めてのハワイアンフラ | 木塚 千恵子(フラダンス講師) | 3 |
| 手工芸教室Ⅰ | おしゃれなビーズアクセサリー | 蒲池 恭子(アクセサリーデザイナー) | 2 |
| 季節の料理教室Ⅰ | 初夏のイタリア料理 | 金澤 登志子(料理研究家) | 1 |
| 美術鑑賞講座Ⅰ | 現代日本画の名作に親しむ | 荻原 延元(川村学園女子大学日本文学学科教授) 見学「成川美術館」(箱根町) | 2 |
| 開館30周年記念フォーラム | 「公民館で“集い・学び・結ぶ”私たち」 公民館の学びと私たちの明日 一くらしをひらく、地域をひらく一 | 岡 幸江(埼玉大学教育学部助教授) | 1 |
| 成人学級水曜華の会公開講座 | 「教育相談所の役割って何だろう」 —どんな相談ができるのかな?— | 木村 康直(調布市教育相談所長)・仲村 照子(教育相談員) | 1 |
| 男性の料理教室Ⅰ | からだにやさしくて、簡単で美味しい、男の料理 | ほりえ さわこ(料理研究家) | 1 |
| 30周年記念フェスティバル | 歌とリズムのオン・ステージ ～結び、つなげよう! 新たなページへ～ | | 1 |
| くらしのセンスアップ教室Ⅱ | はじめての韓国語 | 梁 澄子 (一橋大学非常勤講師・ハングル講座プラン主宰・韓国語通訳・翻訳業) | 4 |
| 季節の料理教室Ⅱ | マシッソヨ! 元気になれる韓国料理 | 金 徳子(コリアン料理研究家) | 1 |
| 美術鑑賞講座Ⅱ | 李 禹煥 余白の芸術 | 柏木 智雄(横浜美術館学芸部主任)・見学「横浜美術館」 | 2 |
| 手工芸教室Ⅱ | クリスマスカードと成年の印 | 多田 文昌(美術家) | 2 |
| 歴史講座 | 明暗を分けた源家三兄弟の生涯 | 木村 進(さいたま市文化財保護審議会委員) | 3 |
| 平和フェスティバル | 時空を超えて願う平和～調布発未来へ 朗読劇「彼方、極限があった～祖父も私も生きている～」 | 出演:公募による市民 脚本:シベリア抑留体験者 阿部 永雄さんを題材としたオリジナル | 1 |
| 東部サロンコンサート | サクソフォン響く聖夜の夢 | 河西 麻希・菊地 奏子(サクソフォン)・桑原 裕子(ピアノ) | 1 |
| 東部市民講座Ⅰ | お笑い塾 | 水崎 一(元漫才師) | 3 |
| 季節の料理教室Ⅲ | 春よこい! おしゃれなフランス料理 | 間野 百合子(マノ料理学園 園長) | 1 |
| 成人学級だけのこの会公開講座 | 心に届ける読み聞かせ～私にもできる?～ | 山花 郁子(児童文学作家) | 1 |
| 男性の料理教室Ⅱ | からだにやさしくて、簡単で美味しい、男の料理 | ほりえ さわこ(料理研究家) | 1 |
| 教育講座 | 子どもたちの周りでいったい何が起きているのか? ～家庭・学校・地域の役割～ | 宮下 孝弘(白百合女子大学 文学部児童文化学科教授) | 3 |
| 時局講演会 | 友達になれるロボットをめざして | 田口 幹(電気通信大学助教授・工学博士) | 1 |
| 東部市民講座Ⅱ | 裁判員制度～裁判員の仕事や役割とは | 樺 剛志(東京地方検察庁検事)・林 欣寛(東京地方裁判所裁判官) | 2 |
| シルバー講座 | 健康で充実した生活を送るために | 山本 克己(調布市薬剤師会会長)・石山 淳一(精神神経科医師) 坂手 エイ子(指先健康法フィンガーストレッチ協会専任講師) 芳賀 孝(調布市高齢者福祉推進協議会会長)・内野 長治(税理士) | 5 |
| 家庭教育講座 | 「親業」親子で素敵にコミュニケーション しっかりいってますか? あなたの子育て | 中川 享子(親業 シニアインストラクター・保育士) 茂木 久子(親業 インストラクター・幼児教室講師) | 3 |
| 幼児家庭教育講座Ⅰ | お母さんといっしょにリトミック! | 日比野 弘美(リトミック研究センター認定講師) | 3 |
| 幼児家庭教育講座Ⅱ | お母さんといっしょにわらべ歌遊び! | 中野 朋子(保育士 色彩認定講師) | 3 |
| 国際理解講座 | ことばで探る韓国の文化 | 梁 澄子 (一橋大学非常勤講師・ハングル講座プラン主宰・韓国語通訳・翻訳業) | 3 |
| 国際交流ひろば | 中国の炒め物作りと中国と英国の茶文化の話 | 戦 海燕(東京大学教養学部ティーチングアシスタント) | 1 |
| 企画展 | 雨田 光弘 水墨画展「音楽とあそぶ猫たちⅡ～カレンダーより～」(21日間) | | |
| 企画展 | 梅原龍三郎と実篤の交友展(18日間) | | |
| 夏休み子ども映画会 | ガーフィールド | | 1 |
| 東部想い出シネマ | 東京物語 | | 1 |
| 日本史講座 | 「古代から中世へ」—後白河・義経・頼朝の時代— | 近藤 創(歴史教育者協議会会員) 共催:日本史を学ぶ会 | 2 |

平和フェスティバル

朗読劇「彼方、極限があった ～祖父も私も生きている～」

グリーンホール小ホールにて開催された、シベリア抑留の体験を題材とした朗読劇。出演者は市民公募した。

「戦争は人間の心を失わせる」
「戦争は凶器の集団を作る」
という言葉に感銘を受けた

平和の大切さを知るためにも
このような朗読劇は必要だと思う



30周年記念フェスティバル

歌とリズムのオン・ステージ ～結び、つなげよう! 新たなページへ～

たづくりくすのきホールにて開催された。出演は、当時登録団体の「ぐるうぶ紫陽花」「瑠璃の会」「女声合唱団花袖」「COOL」「チョウフ・ブロッサムズ」や、調布四中吹奏楽部、桐朋学園大学生、ゲストとしてアカペラ・アンサンブル「カベラッテ」、現在もぐるうぶ紫陽花の講師を務めるバス・バリトン歌手の谷 茂樹氏。



2005年は前回の周年記念誌も発行された ▶

平成18(2006)年度

| 事業名 | 内容・テーマ | 講師・出演者名(肩書き) | 回 |
|----------------|--|--|---|
| 東部ジュニア講座Ⅰ | 子ども囲碁教室 | 東部碁友会会員 | 4 |
| 東部ジュニア講座Ⅱ | 夏休み陶芸教室 | 小野 千鶴(陶芸家) | 1 |
| 東部ジュニア講座Ⅲ | ゆかた着つけ教室 | 西村 ミチ子(着つけアドバイザー) | 1 |
| 夏休み学習室開放 | 涼しい「夏休み特別自習室」を利用しよう(5日間) | | |
| ファミリーコンサート | “COSETTE”が奏でる3つの音色 | 西田 紀子(フルート)・波田 生(ヴィオラ) 芹澤 朋(アコーディオン) | 1 |
| 東部ジュニア講座Ⅳ | 子ども将棋教室 | 調布市将棋連盟 | 3 |
| 東部ジュニア講座Ⅴ | イチゴのロールケーキを作ろう! | 二井 悦子(レストランパティシエール) | 1 |
| 手工芸教室Ⅰ | 包み紙・新聞紙で作るコサージュ | 「お茶のみクラブ」有志の皆さん | 1 |
| 東部サロンコンサート | 風踊る2つのヴァイオリン | 松田 理奈・宮本 笑里(ヴァイオリン)・西方 有加(ピアノ) | 1 |
| 時局講演会 | どうなる!金融政策の行方と影響 ～量的緩和政策解除を受けて～ | 黒田 晁生(明治大学政治経済学部教授・元日本銀行金融研究所課長) | 1 |
| 芸術鑑賞講座Ⅰ | 20世紀における日本の絵画 | 荻原 延元(川村学園女子大学日本文化学科教授) 見学「千葉県立美術館」「市川市東山魁夷記念館」 | 2 |
| 家庭料理教室Ⅰ | 冬木れいさんに学ぶ薬膳料理 | 冬木 れい(料理研究家) | 1 |
| 成人学級向けのこの会公開講座 | 親子で楽しむ絵本の世界～手作りの楽しみも～ | 山花 郁子(児童文学作家) | 1 |
| くらしのセンスアップ教室 | はじめての茶の湯 | 仲村 宗静(裏千家助教・調布市茶華道連盟役員) | 5 |
| 男性の料理教室 | まずは、包丁を持ってみよう! | 日暮 三津子(東部やまぼうしの会代表) | 7 |
| 教育講座 | 親と子の食育～食生活の大切さ～ | 廣瀬 正義(食と教育研究家) 日本醤油協会 しょうゆ食育プロジェクト講師 | 3 |
| 芸術鑑賞講座Ⅱ | 川村記念美術館で名作にふれる ～彫刻家ジャコモッティの展示を中心に～ | 川島 千恵子(川村記念美術館ガイドスタッフ) 見学「川村記念美術館」(佐倉市) | 2 |
| 東部市民講座Ⅰ | 俳句の鑑賞と俳句の愉しみ | 小澤 實(俳人・産経俳壇選者) | 7 |
| 東部市民講座Ⅱ | 私と将棋～人生を語る～ | 石田 和雄(社団法人日本将棋連盟棋士) | 3 |
| 家庭教育講座 | 相手も自分も大切にコミュニケーション ～アサーティブ・トレーニングを通して～ | 竹崎 かずみ (特定非営利活動法人アサーティブジャパン認定トレーナー) | 3 |
| 文化講演会 | 文字に見る江戸の大衆文化 | 橘 右橘(江戸文字書家) | 1 |
| 歴史講座 | 飛鳥の遺跡と古代史～飛鳥の地下に歴史を探索する～ | 木下 正史(東京学芸大学教授) | 3 |
| 経済講座 | 家庭の経済～どうなる平成19年!備えあれば、憂いなし～ | 協力:みずほ銀行・みずほ信託銀行 | 3 |
| 家庭料理教室Ⅱ | 冬木れいさんに学ぶ薬膳料理 | 冬木 れい(料理研究家) | 1 |
| 東部サロンコンサート | ジャズメンたちのクリスマス | 大井 貴司(ヴィブラフォン)・谷口 雅彦(ウッドベース) | 1 |
| 家庭料理教室Ⅲ | 冬木れいさんに学ぶ薬膳料理 | 冬木 れい(料理研究家) | 1 |
| 成人学級水曜華の会公開講座 | 親同士のコミュニケーション～あなたひとりではない～ | 小野 良子(臨床心理士) | 1 |
| 手工芸教室Ⅱ | 刺しゅうで描く春の景色 | 西森 千重子(刺しゅう家) | 4 |
| 平和フェスティバル | 聞いておきたい東京大空襲～被災体験、それぞれの伝え方～ | 寢床家 道楽・狩野 光男・元木 キサ子 | 1 |
| シルバー講座 | 心のふるさとを訪ねて～日本の文化に触れる 「季節を楽しむ簡単折紙～お正月に向けて」ほか | 波多野 則子(日本折紙協会講師)・内田 順久(扇子職人) 越川 禮子(江戸しぐさ語り部の会会長) 三浦 孝之(銀細工職人)・林 のり子(東音会同人) | 6 |
| 幼児家庭教育講座 | 親子で楽しむ本の世界 ～子どもと本のすてきな出会いをねがって～ | 山花 郁子(児童文学作家) | 5 |
| 国際理解講座 | 建国800年～草原の国モンゴル | 宮脇 淳子(東京外国語大学非常勤講師・国士舘大学非常勤講師) 高槻 成紀(東京大学総合研究博物館教授)・パドエルデネ(留学生) | 3 |
| 国際交流ひろば | モンゴルの暮らしと言葉 | | 1 |
| 企画展 | 中川一政と実篤の交友展(18日間) | | |
| 企画展 | 雨田 光弘 水墨画展「音楽とあそぶ猫たちⅢ～カレンダーより～」(20日間) | | |
| 夏休み子ども映画会 | ロボッツ | | 1 |
| 東部思い出シネマ | 野菊の如き君なりき | | 1 |
| 日本史講座 | 司馬遼太郎の歴史観を斬る | 松尾 章一(法政大学名誉教授・歴史研究者) 共催:日本史を学ぶ会 | 2 |

手工芸教室Ⅰ 包み紙・新聞紙で作るコサージュ



不要になったものを、ただ捨てるのはもったいないというSDGsの精神の先駆け。

新聞紙の文字とカラー写真の絶妙なバランスがこのお花を盛り上げていると思います。

同じように作っているのに、人それぞれ雰囲気違って不思議

東部サロンコンサート 風踊る2つのヴァイオリン



現在も活躍するヴァイオリニストで、桐朋学園卒業生の2人が演奏した。

曲目の紹介やトークも交えて、気取らない演出でとても楽しめた

演奏も軽快な雰囲気ですが、何より知っている曲が聞けて、大変満足しています。

ファミリーコンサート “COSETTE”が奏でる3つの音色



レ・ミゼラブルの登場人物が名前の由来の、「COSETTE(コゼット)」による多様なジャンルの音楽のコンサート。芹澤 朋氏のオリジナル曲も演奏した。

一人ひとりの音が生きていて素晴らしい。三つの楽器は洋楽を演奏するイメージが強いので、「春の海」を演奏されると聞いた時はびっくりしました。

とてもさわやかな三人の演奏が心地よく響いて時の流れが止まっているような安らぎを覚えました。

令和7年度調布市東部公民館登録団体一覧

| 団体名 | 活動内容 | 活動日時 | | |
|----------------|----------|------|-----------|-------|
| | | 回数 | 曜日 | 時間 |
| すぎな会 | 書道 | 月2回 | 第1・3金曜日 | 午前 |
| カリグラフィー薫風の会 | カリグラフィー | 月1回 | 第2火曜日 | 午後 |
| グループみその | 生け花(小原流) | 月2回 | 第1・3土曜日 | 午後 |
| 茶道 葉月会 | 茶道(裏千家) | 月2回 | 第2・4水曜日 | 午前 |
| 気楽にスケッチ | 絵画 | 月2回 | 第1・3金曜日 | 午後 |
| グループ・キャンバス | 絵画 | 月3回 | 第1・2・4日曜日 | 午前 |
| 花の輪 | 絵手紙 | 月2回 | 第2・4木曜日 | 午前 |
| 東部フォトクラブ | 写真 | 月1回 | 第4土曜日 | 午後 |
| 日本史を学ぶ会 | 歴史 | 月1回 | 第3木曜日 | 午後 |
| 調布郵趣会 | 切手 | 月1回 | 第1日曜日 | 午後 |
| 東部碁友会 | 囲碁 | 毎週 | 水・金・日曜日 | 午後 |
| 四季歩会 | 登山 | 月1回 | 第3水曜日 | 夜間 |
| 東部やまぼうしの会 | ふれあい料理 | 月1回 | 第3火曜日 | 午前・午後 |
| ぐるうぶ紫陽花 | 合唱 | 月3回 | 水曜日 | 午後 |
| 仙川体操クラブ | ヨガ | 毎週 | 土曜日 | 午前 |
| ゆったりストレッチ | ヨガ・ストレッチ | 月2回 | 第2・4火曜日 | 午前 |
| スポーツ吹矢 東部 | スポーツ吹矢 | 月2回 | 第1・3水曜日 | 午前 |
| 東部ヨガクラス | ヨガ | 毎週 | 火曜日 | 午後 |
| ピラティス&ヨガの会 | ピラティス・ヨガ | 月2回 | 第1・3木曜日 | 午後 |
| 脳トレリトミック「とも」 | 大人のリトミック | 月1回 | 第2木曜日 | 午前 |
| 朗読やまなし | 朗読 | 月1回 | 第3火曜日 | 午前 |
| 調布エッセイの会 | エッセイ | 月1回 | 第1木曜日 | 午前 |
| 東部百人一首の会 | 百人一首 | 月2回 | 第1・3金曜日 | 午後 |
| ペン字虹の会 | ペン字 | 月2回 | 第1・3火曜日 | 午後 |
| 美しい細字楷書の会 | 細字楷書 | 月2回 | 第2・4金曜日 | 午後 |
| 調布市公民館を考える市民の会 | 成人学習 | 月1回 | 第2火曜日 | 午前 |
| ゼンタングルの会 | ゼンタングル | 月1回 | 第4土曜日 | 午前 |
| 彩りダーニング | ダーニング | 月1回 | 第1土曜日 | 午前 |

半世紀、開館50年という節目の年に

丸山 よし はる 義治 東部公民館長

東部公民館は、昭和50年6月にこの地で産声をあげて、令和7年6月、50歳になりました。その記念すべき年に、縁があつてこの記念誌に原稿を掲載させていただくことは、大変、名誉なことと感じています。

振り返れば、開館当時はオイルショックによる財政事情が悪化し、事業ができない状態のことでしたが、2年目から団体・サークルの育成を開始し、3年目には主催事業を開催するまでになったと聞いています。

今では、約30ほどの登録団体が精力的に活動しており、また、地域文化祭への参加、共催事業の実施、独自の展覧会や公開学習会の実施など、地域還元にも注力した積極的な活動もしています。

一方、近年は地域の学校との連携も活発となり、市立小・中学校はもとより、桐朋女子中・高等学校や東京都立神代高等学校とも深い協力関係が構築されています。これらはひとえに、先人及び在籍職員が地域に根差した公民館とするべく積み重ねてきた努力の賜物であると確信しています。

さて、現在、人生100年時代と言われ学習や余暇時間の有効活用が人生に潤いを与えることになると思います。東部公民館は、時代の潮流を捉え、時代を先取り、著名な講師をお迎えした講演などを多数開催した実績があります。今後も、愛される公民館運営に努力してまいりますので、皆様からの変わらぬ御理解・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、記念誌発刊に当たりまして、御多忙の中、御協力いただいた編集部員の皆様、関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

編集部員・担当職員より

今回、記念誌編集部員となりました。あまりお役には立てませんでした、かかわる方々と接し、公民館活動への思いを新たにしました。

私は、2つのサークルに入っていますが、毎回気持ち良く参加できているのは、利用者の方の、活動をより良くしていこうとする努力が受けつがれているからだろうと思います。これからも、それぞれが、好きな事のために集い、仲間と楽しく活動する場所としての公民館を大事にしていきたいと思っています。

今岡 明子（すぎな会・東部ヨガクラス）



記念誌の作成に当たり、ご多忙の中原稿やカット絵をお寄せ下さった関係者の皆様に深謝致します。昨今では感染症の拡大や夏の猛暑、インターネットの普及など、集にくい状況があります。しかし社会参加をし、人間関係を深め繋がる事こそが大切だと思います。ある記念誌の一文です。「動かなければ出会えない、語らなければ広がらない、聴かなければ深まらない」楽しい思い出を、皆さんの新しいページに綴りませんか。

佐藤 由里子（花の輪）

公民館がある街っていいな—というのが、東部公民館50年誌の編集をお手伝いさせていただいて改めて感じたことでした。年間講座一覧を見てみると、その年に実施した生活や歴史、科学、芸術などの文化講座がびっしり並んでいます。地域のさまざまな方が集うサークル活動も盛んです。公民館の良いところは誰でもいつでも参加できるという点です。新たに迎える50年が地域の学び、交流の場として、さらに愛される50年となりますよう心より願っています。

下釜 正利（四季歩会）



私が東部公民館とのご縁をいただいたのは、ちょうど公民館の30周年のころでした。私が知らないそれまでの30年と、私が関わってきたその後の20年——。このたび編集部員として、地域に根ざした活動や人々のつながりを50年間を通して振り返る中で、公民館が果たしてきた役割の大きさをあらためて感じました。本誌が、過去を知り未来を考える一助となれば幸いです。過去から未来へとつながる「とぶと〜ぶ」の編集に携わることができ、大変光栄でした。最後に、ご協力いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。

遠山 清美（カリグラフィー薫風の会）

50年という長い歴史の東部公民館は常に私のそばに在り、人生を共に歩んで来たという思いがあります。世の中の様子や価値観が大きく変化する中でも多くの仲間達と学び、触れ合いながらの時間はかけがえなく、時代に寄り添いながらの成長の場でもありました。この記念誌の編集に携われたことは自分の歴史を振り返ることが出来、懐かしい方々との思い出に浸れたことは嬉しい事でした。

また、編集部員の方々との笑い溢れた会議はまた一つの思い出となりました。

ありがとう!! 東部公民館!!

舟本 富士子（仙川体操クラブ）



今回の編集に参加して、公民館から広がる「地域の人の繋がり」を強く実感しました。記事を頂いた方から、公民館活動を卒業した後もLINEグループで会話し交流し続ける仲間になっているという話を聞き、また、私自身も公民館を通じていつの間にか沢山のひとと知り合っていたことに気づきました。それまで挨拶したこともなかった人々と公民館がきっかけで知り合いになり道端でおしゃべりするようになる、そんな公民館の存在意義を今更ながら再認識し、心からの感謝を捧げます。

三宅 佳子（東部やまぼうしの会）



この度開館50周年の記念誌制作に、微力ながら携わらせて頂きました事は、思いがけなくも貴重な経験となりました。

座談会に出席し、諸先輩方のお話をお聞きしたり、サークルの会員の方から情報やアイデアを貰ったりし、それらを通じて、東部公民館が仙川の地にしっかりと根を張り、この地域になくてはならない大切な場所になっているのを、改めて強く感じました。

これから更に、60周年、70周年と成長していく東部公民館の、新たなる始まりの時に立ち会え、本当に嬉しく思っています。

山本 理恵（すぎな会）

中央公民館で30周年誌、東部公民館でも30周年誌にかかわった私が、今回も周年誌に携わらせていただきました。度重なる振り返る機会に、公民館の意義を感じ続けて、まもなく定年退職を迎えます。ここから離れても応援したいという思いを込めてひとこと。大切なものを守るには大変な思いをすることもあります。でも、公民館はその中でも「であいの中で」の楽しさがあります。そんなこれまでの幸せに感謝して、ペンを置きたいと思います。ありがとうございました。

佐藤 茂（東部公民館主任）



老舗の味を守り続けて現在も営業中のお店がある。スープやたれをつぎ足しつぎ足しているから？それだけではないようだ。変わりゆくお客のニーズや、その時代の流行をキャッチしながらも、変えない部分は頑固に変えず、味のマイナーチェンジなどをこまめに行ってきたから、「変わらない味」があるのだという。

公民館もこうありたい。単なる貸館ではない、四角四面でない余白を残しながらも、利用者のニーズや時代感を反映した事業を行い続けなければ、そっぽを向かれてしまう。開館50年から60年へと、バトンを渡していきたい。

永井 知江（東部公民館専門員）

周年行事経験職員から、「記念誌作りは大変だよ～」と激励にも似た声をたくさんかけられ、不安を感じたのは昨年のことでした。編集部員の方々はボランティアで参加してくれていて「負担感のないように」などと当初は思っていたのですが、会議も終盤になると「もう集まることがなくなるのだなあ」と寂しい思いです。2ヶ月に1回、集まって一緒に考えてくれた編集部員の方々、同じ時間を一緒に過ごせて本当に楽しかったです。

岩館 聖恵（東部公民館専門員）



調布市立の小学校・中学校に通っていたころ、毎月学校から配布されていた公民館だよりを、自分ではよく確認せず親に渡していました。なんと勿体ないことをしたか、あれは情報の宝庫でした。この記念誌の誌面を作る中で、公民館が地域の中で果たす役割の大きさを知ったこの1年、大変貴重な経験をさせていただきました。関わっていただいた全ての皆さまに感謝いたします。東部公民館から離れても、一市民として公民館と人生を共にしたいと思います。

黒田 凜（東部公民館事務員・記念誌編集担当）



＜東部公民館開館50周年記念誌編集部員＞

今岡 明子(すぎな会・東部ヨガクラス)、佐藤 由里子(花の輪)
下釜 正利(四季歩会)、遠山 清美(カリグラフィー薫風の会)
舟本 富士子(仙川体操クラブ)、三宅 佳子(東部やまぼうしの会)
山本 理恵(すぎな会)

＜令和7年度東部公民館職員＞

丸山 義治 (館長)
倉持 美土子(主査)
佐藤 茂 (主任)
永井 知江 (公民館専門員)
岩館 聖恵 (公民館専門員)
佐藤 一美 (事務員)
黒田 凜 (事務員)



調布市東部公民館開館50周年記念誌

とびと〜び

See you

登録番号(刊行物番号)
2025-150

＜挿絵＞

花の輪、すぎな会、グループ・キャンパス
東部フォトクラブ、気楽にスケッチ
美しい細字楷書の会、ゼンタングルの会
Kiyomi Toyama、To2

令和8年2月27日 発行

編集 調布市教育委員会 東部公民館
調布市東部公民館開館50周年記念誌編集部

発行 調布市教育委員会 東部公民館
〒182-0003 調布市若葉町 1-29-21
TEL: 03-3309-4505 FAX: 03-3305-3456

印刷 有限会社 東信堂印刷所
〒182-0035 調布市上石原 1-31-10
TEL: 042-485-2131 FAX: 042-485-2003



令和7年
(2025年)

東部公民館50周年記念

